

手足口病に気をつけましょう！

手足口病は、夏に流行する感染症です。現在、小豆保健所管内で流行していますので、しっかりと手洗いをするなど感染防止に努めましょう。

○保健所別定点当たり患者数（最近 4 週の発生状況）

[令和6年 第 41 週(10月 7日～10月 13日) ～ 第 44 週(10月 28日～11月 3日)]



◇手足口病とは？

エンテロウイルス 71 型などのウイルスによる感染症です。乳幼児のあいだで流行しやすく、夏風邪の一種とも言われます。

複数のウイルスが原因となるため、何度もかかることがあります。

◇潜伏期間と症状は？

3～5 日の潜伏期間ののち、手のひら、足の裏、口の中の粘膜に水疱性のブツブツが現れます。約 3 人に 1 人の割合で軽度の発熱がみられます。

たいていは数日間のうちに自然におさまりますが、高熱、吐き気、頭痛の強いとき、不機嫌なときなどは早めに医療機関に相談してください。

◇感染経路は？

せきやくしゃみなどによる飛沫感染や、感染者の鼻水や便などの中にいるウイルスが、手などによって、口や鼻に運ばれることで感染する接触感染でうつります。



◇感染予防のポイント

- ①しっかりと手洗い・うがいをしましょう。
- ②感染者とのタオルの共用は避けましょう。
- ③回復後 2～4 週間は、便からウイルスの排出がありますので、処理するときには特に注意が必要です。